

それは、地球にやさしい駅。

電車がエネルギーを使って走るように、
 駅の自動改札機やエレベーター、照明、空調なども、
 エネルギーを使っています。

JR西日本ではこれらの快適性や利便性を大切に、
 地球環境保護に配慮した、
 環境にやさしい「エコステーション」計画をスタート。

太陽光発電や屋上緑化、雨水活用など、自然の力を利用するこの計画は、
 現在進行中の大阪駅改良工事でカタチになろうとしています。

これからも、人と地球にやさしい鉄道であり続けるために、
 エコロジー対策に取り組んでまいります。

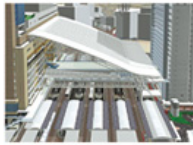
ずっと、青い空と走るために。



大阪駅からはじめます — 環境にやさしい「エコステーション」計画



2011年春の完成を目指して、西日本最大級のターミナル・大阪駅の整備が進行中。この「大阪駅開発プロジェクト」では、駅整備とまちづくりの視点に立って、「根本的な駅改良」「広場・通路の整備」「新北ビルの開発」「アクティ大阪増築」を4つの柱としています。さらに、人にも地球にもやさしい鉄道にふさわしい、地球環境保護に配慮した様々な取り組みを計画。目指す姿は、環境にやさしい「エコステーション」です。



☀ 太陽光発電

ホーム西側の屋根に約2000㎡のパネルを設け、太陽光発電を計画。駅や併設する新北ビルの照明などに使用する予定で、年間約80トンのCO2削減に効果があると見込んでいます。



🌱 屋上緑化

併設する新北ビルやアクティ大阪の中階層の屋上約2500㎡に、植栽や花壇の設置など緑化を計画。屋上の菜園で育てた野菜を皆様にお楽しみいただけるようなことにも取り組んでいきます。

💧 ドライミスト

夏の暑さ対策として、ドーム屋根下の屋上プラザにはドライミスト（水蒸気微小霧状にして暑熱を冷却・蒸発利用して微霧）を設置。水が気化する際に蒸発の熱を吸収するため、プラザ内の温度を2～3度下げることができます。

❄️ 地域冷暖房システム

JR西日本グループで、大阪駅や構内設備などを対象に、平成3年から始めている冷暖房のエネルギー供給。今後の工事を機に、新北ビルも供給エリアに加え、さらなる省エネルギー化を図ります。

☔ 雨水活用

ドーム屋根に降り注ぐ雨水を地下の貯水槽に集め、水洗トイレの洗浄や植栽への散水に利用。これにより、最大で1日約700トンの節水が期待できます。

🌟 様々な取り組み

その他にも、消費電力の少ない省エネタイプの照明の導入や、熱遮蔽効果の高い二重ガラスの採用、水力発電、風力発電など様々な取り組みを通じて環境にやさしい「エコステーション」を実現します。



<http://www.westjr.co.jp/>



ちょっと先のことも、
ずっと先のことも。

